

三芝硝材 株式会社



独自の技術で床材向け
デザインガラスを開発
建築材の新規市場創出

富山県
高岡市岩坪23-2

1957年(昭和32年)設立
TEL 0766-24-6811

代表取締役
西 英夫

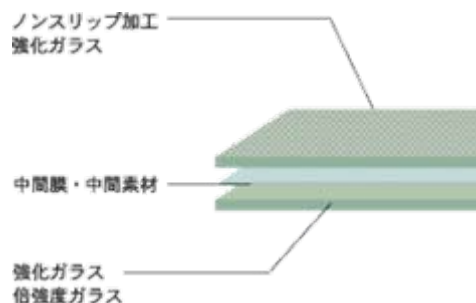
<http://www.sanshiba-g.co.jp>

床や階段向けに滑りにくい特殊加工の合わせガラスを開発し、東京駅銀の鈴ひろばの床の地図柄など大型建築・公共空間を斬新にデザイン。光を駆使し建築材に新しい分野を開拓。

滑らないガラスを開発、床下からのライトアップで美しい光床を実現

ガラスの表面に微粒ガラスを融着し、人間工学に基づく適度な抵抗値を持たせ、歩きやすく滑りにくいガラス表面を実現。合わせガラスの特性により飛散防止、耐久性に優れた新しい建材として急速に普及。

東京駅銀の鈴広場、国立科学博物館新館にも採用。



日本最大の製造設備で大板合わせガラス製造

合わせガラスを加圧接着するオートクレーブ。日本最大で、3000mm×12000mmの大板合わせガラスの製造が可能。建築デザインの表現を大きく広げ新規市場を創出。



日本最大規模のオートクレーブ

伝統産業とのコラボレーションで新製品開発

高岡は銅器・漆器の伝統的工芸品産地。合わせガラスの中間膜を漆加工するなど積極的な製品開発で躍進。



東京駅 銀の鈴ひろば



国立科学博物館 新館